

京都工芸繊維大学大学院

工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）

建築学専攻

外国人留学生特別入試

令和三年度（令和三年秋入学）入学試験問題

小論文

以下の点に注意すること。

1. 解答用紙の受験番号欄に受験番号を記入しなさい。
2. 【1】から【3】の中から1つの問題を選択し、必ず問題番号を解答用紙の最初の行に記入してから解答しなさい。
3. 下書用紙は自由に使用してかまいません。

【1】以下の設問にすべて答えなさい。

簡1

建築史にかかわる次の語句から5つを選び、建築史的にどのような意味をもつのか、説明しなさい。

(それぞれ日本語100字程度)

1. 山田寺
2. 東大寺法華堂
3. 浄瑠璃寺本堂
4. 妙喜庵待庵
5. 二条城 二の丸御殿
6. ル・トロネ修道院
7. メディチ家礼拝堂
8. ヴィラ・ロトンダ
9. パリ・ノートルダム大聖堂
10. モンサンミシエル
11. ヴィラ・サヴォア
12. ファンズワース邸
13. 築地ホテル館
14. 法務省旧本館
15. 土浦亀城邸

簡2

京都市内の近世以前に建てられた神社建築をひとつ取り上げ、その様式的特徴について説明しなさい。(日本語200字程度)

簡3

日本で行われている文化財の解体修理について、ヨーロッパ起源の保存概念との関係でどのような問題提起がなされてきたか、説明しなさい。(日本語400字程度)

【2】建築の火災に対する安全性に関する以下の設問にすべて答えなさい。

簡1

出火対策および火災の初期段階における安全対策について、建築計画上では具体的にどのような対策が重要と考えられるか。「可燃物」「早期発見」「初期消火」というキーワードを用いて、400字以上で説明しなさい。

簡2

次に、延焼防止対策について、建築計画上では具体的にどのような対策が重要と考えられるか。「耐火」「防火区画」「堅穴区画」というキーワードを用いて、400字以上で説明しなさい。

簡3

次に、避難計画について、建築計画上では具体的にどのような対策が重要と考えられるか。「脱出避難」「一時避難」「排煙」「避難階段」というキーワードを用いて、600字以上で説明しなさい。

簡4

火災が起きると大きな被害となりやすい建築として、ホテル、デパート、病院・福祉施設、雑居ビルが挙げられる。これら4種類のうち1つを選んで、大きな被害となりやすい背景・理由を200字以上で説明しなさい。

【3】以下の設問に答へなさい。

日本の建築に用いられる耐震技術を2つ以上あげ、その長所と設計上の注意点を合計2000字程度で説明しなさい。

京都工芸繊維大学大学院

工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）

建築学専攻

外国人留学生特別入試

令和三年度（令和三年秋入学）入学試験問題

設計

以下の点に注意すること。

- 解答用紙はA2版ケント紙が1枚です。解答用紙は試験終了後に回収します。
- 下書用紙はA2版トレーシングペーパーが2枚です。下書用紙も2枚とも試験終了後に回収します。
- すべての解答用紙と下書用紙の受験番号欄（右下部の枠内）に受験番号を記入しなさい。

課題 「神社境内に建つ集合住宅」

□趣旨

神社境内にコミュニティ・スペースを併設した、若い子育て世代の家族が暮らす集合住宅を計画する。入居者のプライバシーに配慮した快適な居住環境と、開かれたコミュニティ・スペース、さらにシェア・オフィスとして利用できるワーク・スペースの提案が求められる。

□敷地（別紙参照）

敷地は神社境内の一部で、西は道路、南は神社の社務所（木造平屋、瓦葺き）、北と東は境内に接している。地盤面は平坦で周囲との高低差はない。周辺は低層の戸建て住宅が並んでいる。

□機能および条件

- ・構造形式は自由。
- ・階数2階建て以下、地下はなし。
- ・延べ床面積は550㎡程度。
ただしピロティ、バルコニー、テラス、屋外階段等は延べ床面積に含めないものとする。
- ・建築基準法、景観条例等の建築規制関係の法令は考慮しなくてよい。
- ・住戸、コミュニティ・スペースともに内部の使い方をイメージし、それに合う家具などの配置を図面に表現すること。
- ・道路境界および敷地境界については、周囲との関係を考慮し、塀、生垣、オープンにするなど具体的に図面に描くこと。

<住戸>

- ・西側道路からのアプローチを基本とする。
- ・住戸はファミリータイプ（80㎡程度）×4戸。
- ・駐輪場6台分（1台当たり500×2000mm）。
- ・駐車場1台分。
- ・外部にゴミ置き場を設置すること。面積は適宜。

<コミュニティ・スペース>

- ・神社境内からのアプローチを基本とする。
- ・面積150㎡程度。
- ・図書スペースを設けること。規模は適宜。
- ・ミニキッチン、便所、収納を設けること。
- ・駐輪場20台分。
- ・コミュニティ・スペースの使い方
親子20名程度が食事をしたり、庭で遊んだりする。
習い事（珠算、習字、絵画など）の教室。
町内の会議など。
*いずれかの使い方を想定し、その場合の家具の配置を表現すること。

<ワーク・スペース>

- ・面積は15㎡程度。
- ・4名程度がノート・パソコンを使った事務作業などを行えるスペース。
- ・コミュニティ・スペース内に設けても良いし、独立して別に設けても良い。

□要求図面

- | | | |
|----------|----------------|--------------------------------------------------------------------------|
| ・各階平面図 | 1 : 200 | 1階平面図には配置図と兼ねて、外構計画を表現すること。
<u>各住戸の面積（バルコニー、テラス等は除く）を平面図内に記入すること。</u> |
| ・立面図 | 1 : 200 | 2面 東面と西面を描くこと。 |
| ・断面図 | <u>1 : 100</u> | 1面 |
| ・スケッチパース | | 1面以上 1面は主要な外部空間を描くこと。 |
| ・その他 | | コンセプト図など自由に描いても良い。 |

以上をA2サイズ（ヨコ使い）ケント紙1枚にまとめること。各図面には主要寸法を記入し、グレーの濃淡（無彩色）による表現は可能とするが、着色は不可とする。作図はフリーハンドでも可とする。オンライン受験者はA3サイズ（タテ使い）×2枚でも可とする。

